

名和地域休養施設(山香荘) 整備計画 PART I

～経過と整備の概要～

◆経過

名和地域休養施設の整備活用策について、平成23年3月議会において、サッカーグラウンド整備を中心とした活性化案を議会に提案しましたが否決となりました。これを受けて、4月に町議会議員による特別委員会、そして5月には町民からの公募により委嘱された検討委員会が組織され、大山北麓全体の活性化について検討されました(詳細は町報10月号に掲載)。8月に両委員会からの提言を受け、その提言を最大限尊重することを基本に整備計画を作成し、9月に住民説明会を行いました。そして、いただいた様々な意見を客観的な立場から、採算性・持続可能性などを総合的に判断した上で、新たな整備計画を9月議会に提案しました。

◆整備の概要

9月議会で可決された地域休養施設(山香荘)の整備計画について、整備の内容、費用(予算額)、財源、取り組みなどについてご説明します。

1. どんな整備をいくらの費用(予算)ですの？

総額335,000千円をかけて、多目的広場、グランドゴルフ場等を整備します。

第1多目的広場(仮称) 19,000千円

現在ある多目的グラウンドの天然芝を張替えます。サッカー、陸上、ラグビー、グランドゴルフなどの各種スポーツ、レクリエーション等で誰もが多目的に活用することができます。

第2多目的広場(仮称) 205,000千円

テニスコート跡、バレーボールコート跡等に人工芝の多目的グラウンドを整備し、夜間照明設備及びフェンスを設置します。各種スポーツ、レクリエーション等に十分な広さを持ち、芝の傷みなどを気にすることなく連続使用することができます。

グランドゴルフ場 12,000千円

現在ある野外広場に、天然芝のグランドゴルフ場を整備します。併せて、音楽などの各種イベント会場として活用することができます。

駐車場・便所等附帯設備 64,000千円

約90台の駐車場スペースと2箇所の公衆用トイレを整備します。

備品等整備費 6,000千円

各種スポーツに対応できるよう備品の充実を図ります。



その他、測量設計管理費23,000千円、用地買収費6,000千円をかけて整備します。また、遊具広場や食の魅力付けなど継続して活性化方策を検討していきます。

2. 財源はどうするの？

町の財政負担を極力減らすために、有利な助成制度を活用します。

- 日本サッカー協会助成金 60,000千円
- スポーツ振興くじ助成金 65,000千円
- 辺地債 210,000千円
- 一般財源 0円

※助成金は、平成23年10月1日時点の見込み。

※辺地債は、地方交付税の元利償還金に対する算入割合が80%であるので、町が最終的に負担すべき総額は、約43,000千円程度。10年程度で償還見込。

